

目次

平成25年度	問題／解説	7 / 22
平成26年度	問題／解説	37 / 52
平成27年度	問題／解説	71 / 86
平成28年度	問題／解説	103 / 120
平成29年度	問題／解説	135 / 150
平成30年度	問題／解説	165 / 182
令和元年度	問題／解説	197 / 212
令和2年度	問題／解説	231 / 248
令和3年度	問題／解説	269 / 284
令和4年度	問題／解説	303 / 318
令和5年度	問題／解説	337 / 352
令和6年度	問題／解説	373 / 390

■ 土地家屋調査士試験（午前の部） 資格ガイド

試験科目・形式	平面測量、作図
	多肢択一式問題10問と記述式問題1問
合格ライン	<ul style="list-style-type: none">・ 多肢択一式問題については、60点満点（1問6点）で、記述式問題については、1問で40点満点で採点。・ 令和4年度の筆記試験は、満点100点中68.0点以上が合格ライン。多肢択一式問題60点満点中30.0点、記述式問題40点満点中32.0点それぞれ達しない場合には不合格。

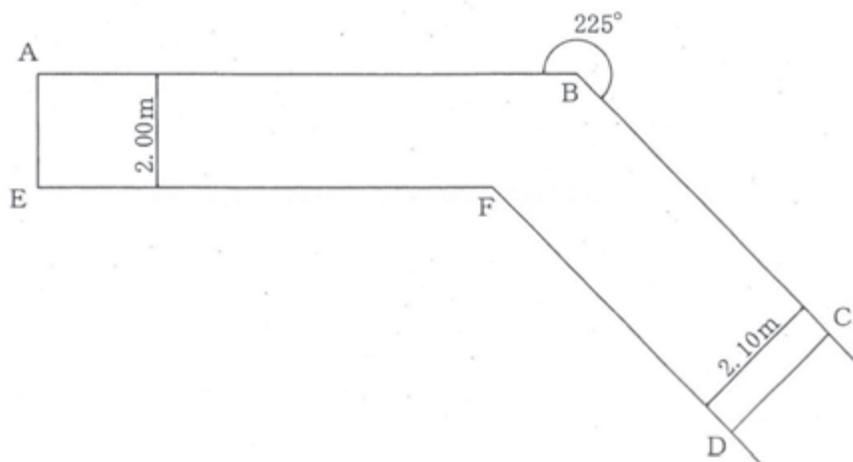
平成25年度
土地家屋調査士

本試験問題と解説

(午前の部)

第1問 次の〔図〕及び〔表〕の測点について、点A及び点Bを結んだ直線と点E及び点Fを結んだ直線が平行であり、かつ、点B及び点Cを結んだ直線と点F及び点Dを結んだ直線が平行である場合における点FのY座標値として最も近いものは、後記1から5までのうち、どれか。

〔図〕



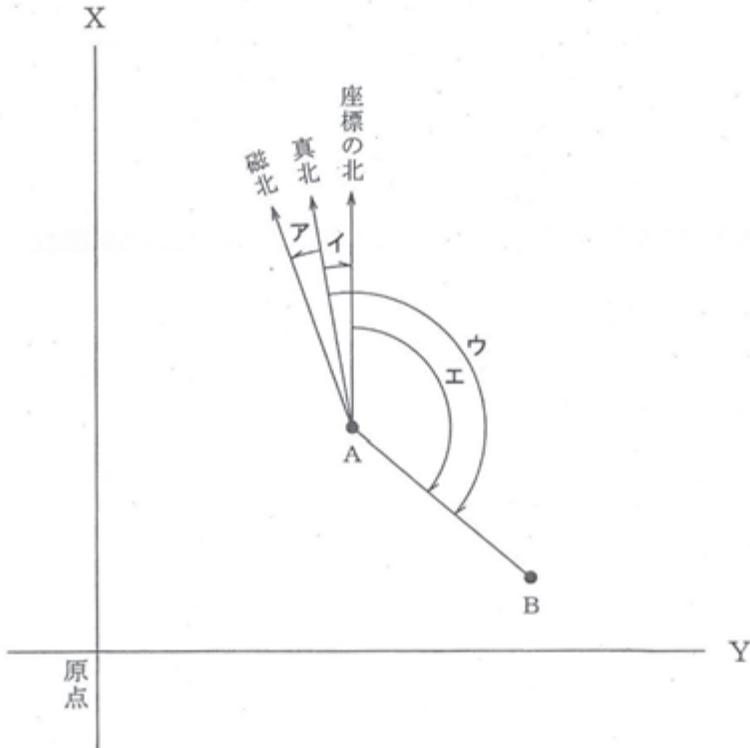
〔表〕

点名	X座標(m)	Y座標(m)
A	100.00	100.00
B	100.00	110.00
C	95.82	114.18
D	94.33	112.70
E	98.00	100.00

- 1 108.00 m
- 2 108.09 m
- 3 109.03 m
- 4 109.09 m
- 5 109.11 m

第2問 次の〔図〕は、点Aにおける平面直角座標系の北方向(X軸に平行な方向)、磁北方向、真北方向及び点B方向で作られる角の関係を示したものである。〔図〕のアからエまでを表す語句の組合せとして正しいものは、後記1から5までのうち、どれか。

〔図〕



- | | | | | |
|---|---------|---------|---------|---------|
| 1 | ア 偏角 | イ 子午線収差 | ウ 方位角 | エ 方向角 |
| 2 | ア 子午線収差 | イ 真北方向角 | ウ 方向角 | エ 方位角 |
| 3 | ア 磁針方位角 | イ 偏角 | ウ 方位角 | エ 方向角 |
| 4 | ア 磁針方位角 | イ 子午線収差 | ウ 真北方向角 | エ 方位角 |
| 5 | ア 偏角 | イ 真北方向角 | ウ 方向角 | エ 磁針方位角 |

第3問 光波測距儀を使用して次の〔図〕にある直線上の点 A, B 及び C 間の距離測定を行い、次の〔観測結果〕のとおりの結果が得られたので、この結果から器械定数を求めた上、当該器械定数と反射鏡定数を用いて、AC 間の距離を補正した。この場合において、器械定数と補正後の AC 間の距離に最も近いものは、後記 1 から 5 までのうち、どれか。ただし、各点の標高は同一であり、器械高及び反射鏡高は全て同一に設置しており、気象補正済みで、測定誤差がないものとする。

なお、反射鏡定数は、 -0.025 m とするものとする。

〔図〕



〔観測結果〕

測定区間	測定距離(m)
AB	131.667
BC	122.502
AC	254.184

	器械定数(m)	補正後の AC 間の距離(m)
1	-0.010	254.199
2	-0.010	254.219
3	$+0.015$	254.199
4	$+0.040$	254.119
5	$+0.040$	254.199

解説編

■ 択一式問題

第1問 正解 3

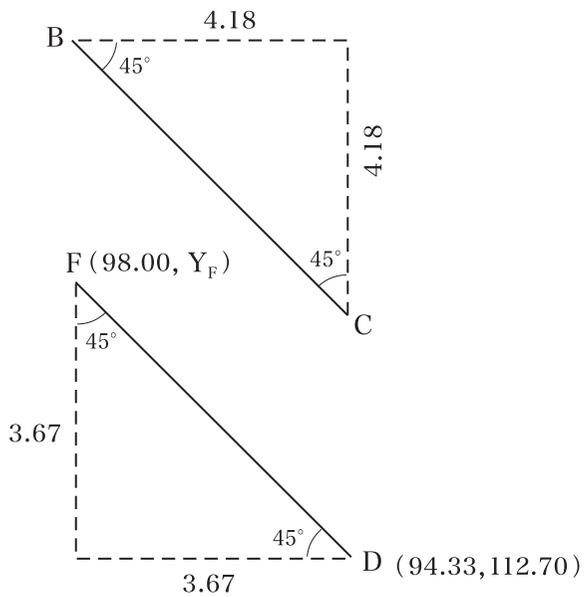
(出題テーマ) 平行線及び二等辺三角形の性質

(難易度) A

(各肢の解説)

AB//EF より $X_E = X_F = 98.00$

BC//FD



$$Y_F = 112.70 - 3.67 = 109.03$$

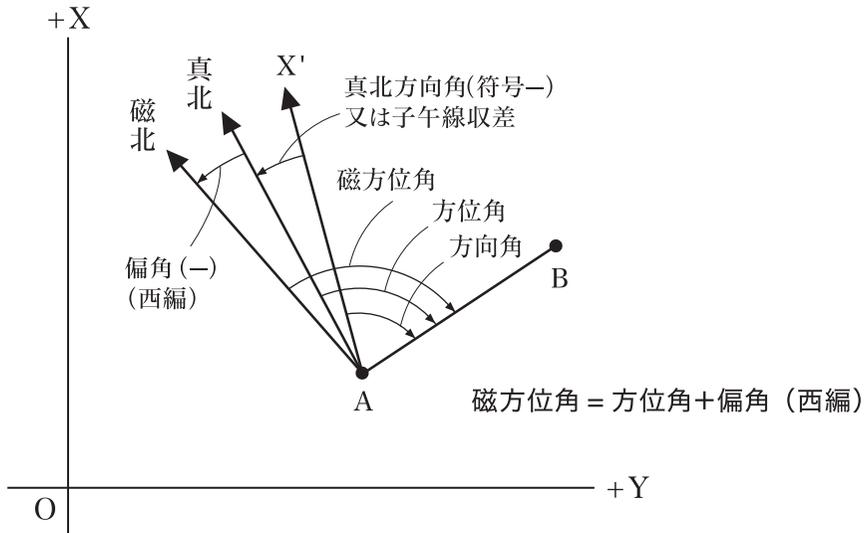
よって解答は「3」となる

第2問 正解 1

〔出題テーマ〕 磁方位角、方向角、方位角の関係

〔難易度〕 A

〔各肢の解説〕



よって解答は「1」となる

第3問 正解 5

〔出題テーマ〕 光波測距儀の定数の決め方

〔難易度〕 B

〔各肢の解説〕

定数 = 器械定数 + 反射鏡定数

定数 = $254.184 - (131.667 + 122.502) = 0.015$

器械定数 = 定数 - 反射鏡定数

(問題文より反射鏡定数 = -0.025)

= $0.015 - (-0.025) = 0.040$

補正後の AC 間の距離

$254.184 + 0.015 = 254.199$

よって解答は「5」となる

【本書に関するお問合せについて】

本書の正誤に関するご質問は、書面にて下記の送付先まで郵送もしくはFAXでご送付ください。なお、その際にはご質問される方のお名前、ご住所、ご連絡先電話番号（ご自宅／携帯電話等）、FAX番号を必ず明記してください。

また、お電話でのご質問および正誤のお問合せ以外の教材に関する解説につきましてはお受けいたしかねます。あらかじめご了承くださいますようお願い申し上げます。

【ご送付先】

〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町3-22 ナカバビル1階
東京法経学院
「土地家屋調査士試験 午前の部 年度別過去問解説集
〔平成25年度～令和6年度〕」編集係 宛
FAX：03-3266-8018

土地家屋調査士本試験 午前の部 年度別過去問解説集
〔平成25年度～令和6年度〕

令和7年3月9日 初版発行	編者 東京法経学院 編集部
	発行者 立石 寿 純
	発行所 東京法経学院
	〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町3-22
	ナカバビル1F
	TEL 03-6228-1453（代表）
	FAX 03-3266-8018
（著作権所有） 不許複製	

* 落丁、乱丁の場合はお取り替え致します。